

美しい日本のむら

— 21 世紀に伝えたい —



全国土地改良事業団体連合会

発行／全国土地改良事業団体連合会
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館2階
電話／03(3234)5480 FAX／03(3234)5670

この刊行物は、財団法人日本宝くじ協会の助成を受けて作成されたものです。

我が国の農業・農村は、国民の「暮らしといのち」を守るため、その基本である食料の安定供給はもとより、治山・治水などの国土保全、水源のかん養などの多面的な機能を有しており、国民が安心して生活するために欠くことのできない多くの役割を果たしています。また、農村地域の豊かな自然や美しい景観、歴史的な遺産や伝統などは、そこに住み暮らす人々にとって、親から子へ、子から孫へと守り伝えられてきた貴重な文化であるとともに、そこを訪れる都市の人々にとっても、やすらぎを与えてくれるかけがえのない国民の財産であります。

は じ め に

この冊子は、「美しい日本のむら景観コンテスト」で受賞された市町村の美しいふるさとと景観や自然環境、文化や伝統などを紹介したものです。これらの素晴らしい地域資源を21世紀に伝えようとの思いを込めて刊行いたしました。本冊子を契機として、このような美しい日本のむらの存在を多くの皆様に知っていただき、日本人のふるさとである農業・農村が果たす多様な役割や効果に対して御理解と御支援をいただければ誠に幸いに存じます。

最後に、本冊子の刊行にあたり御協力を賜りました農林水産省農村振興局農村政策課農村整備総合調整室の皆様にご心から感謝の意を表します。

平成13年2月

全国土地改良事業団体連合会
会 長 梶 木 又 三

目 次

美しい日本のむら総集

美 ^り 集 ^り 伝 ^り	江苏工业学院图书馆	P2
	落 ^り 藏 ^り 書 ^り 章 ^り	P44
		P76

エッセイ／浜 美枝

第1～8回受賞市町村一覧	P110
--------------	-----------



福井県の若狭に民家を移築し、田畑をお借りして農業の実践を始めてから、十年以上が過ぎました。自分で土を耕すようになって、「食」への思いが大きく変わりました。水に生かされ、土に生かされ、日に生かされ、木に生かされていることを肌で感じ始めたからです。

冬が終わると、新しい春の大気をたっぷり含んだ土からは、今年もいい米を作るぞという声が聞こえてきます。初夏には、田畑の周りはむせ返るような緑の匂いでいっぱいになります。植物が成長するときに放つ命の匂いです。

そして秋の収穫。田圃は文字通り黄金色にと変身します。この時期、1年の実りをいただく喜びを、私は友人たちと共に分かち合いたくて、毎年大勢の人をお招きします。

このごろ、田畑を目にすると、若狭の自分の田圃を前にしたのとまったく同じ思いがこみあげてくるようになりました。この国の田畑すべてが、命をはぐくむもの。手入れが行き届いた田畑のある村はどこも愛おしくなりません。

浜 美枝







イチイの純林 北海道根室市



時忘れの花…菜の花 青森県横浜町



「ちょっとひと休み」(炭焼き) 青森県新郷村西越



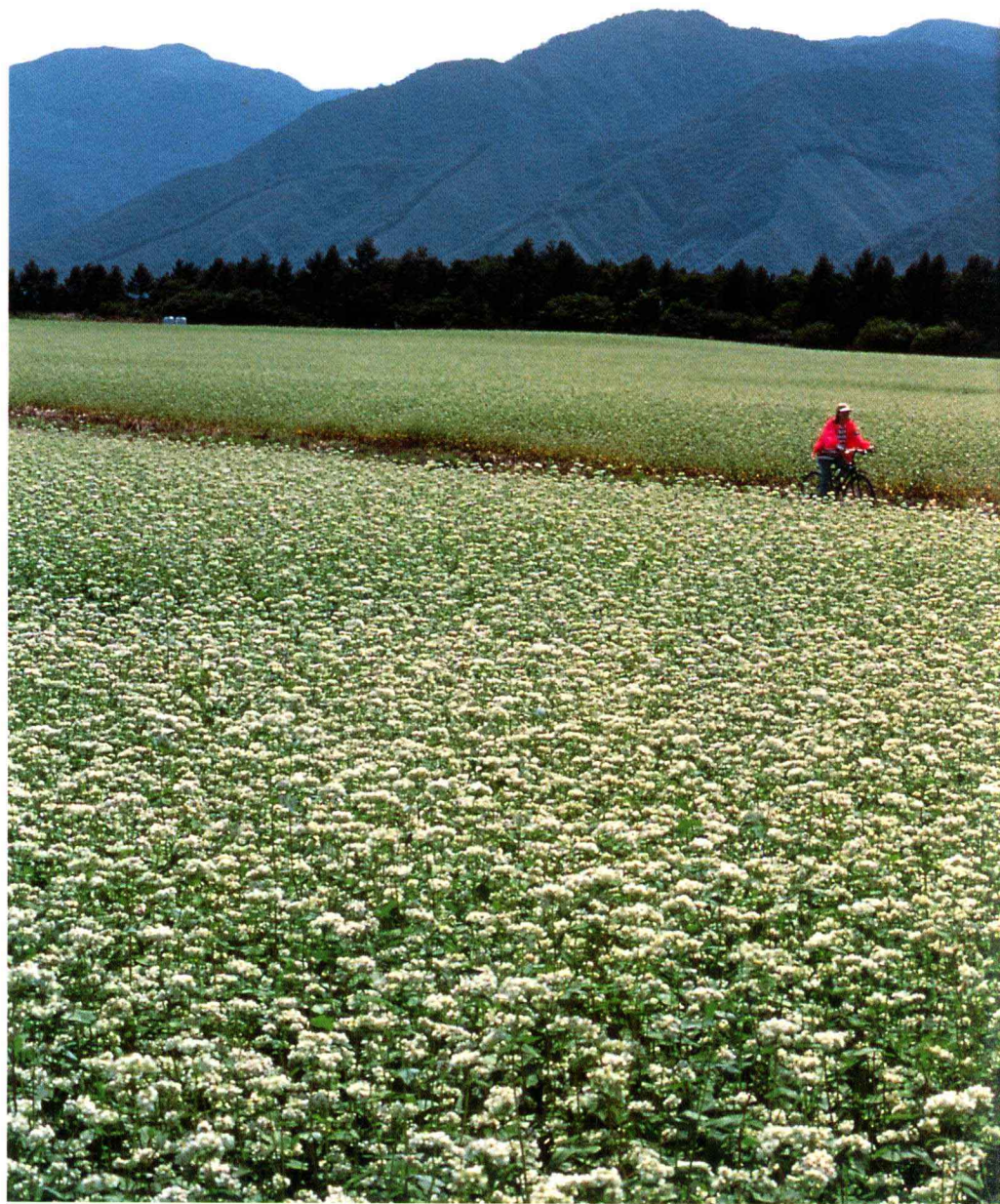




田植えどき 秋田県東由利町土場沢



戻ってきた鮭 秋田県八森町





白いじゅうたん(そば畑) 福島県下郷町落合





焼畑で栽培される田川赤かぶ収穫の頃 山形県鶴岡市田川



風と白帆のハーモニー(帆引き網漁) 茨城県玉造町

